

県会議員 奥村のり子 の  
読者ニュース

2017年2月5日 第251号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
☎ & FAX 073-427-7121  
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



1%の富裕層・大企業でなく  
99%の国民を豊かにする政治を

1月25日、参院本会議で共産党の代表質問に立った小池晃書記局長が「1%の富裕層や大企業ではなく、99%の国民を豊かにする政治を」と訴えたのは圧巻でした。安倍首相の施政方針演説では「全国津々浦々で、確実に経済の好循環が生まれている」なんて得意のごまかし話。なるほど大企業の経常利益は3年間で1.5倍に増え、内部留保は52兆円増え386兆円にも！だが大企業の正社員でも給与・賞与はわずか1.4%増えただけで全労働者の平均は安倍政権発足後で年収19万円もダウン。家計消費も15カ月連続で前年比マイナス。国民生活基礎調査ではこの20年間で生活が「苦しい」と答えた人は42%から60%に。「普通」と答えた人は52%から36%に減少。「こうした社会の立て直しが政治の最大の責任」と訴えたのが小池さんです。だが安倍政権はかつて毎年1兆円ずつ増えていた社会保障費の自然増を今年度以降も5千億円減らし、給付は減り負担はさらに増大、年金削減、入院食費の負担増、介護保険利用料の2割負担、後期高齢者の医療保険料の大幅な引き上げ、70歳以上の高額療養費の負担増、高額介護サービス費の負担増などなど予定。一方で貯めまくっている大企業に4兆円も「減税」だから怒り憤懣です。これをやめ社会保障の自然増削減はきっぱり中止し、充実にさせよと訴えた小池さんに思わず拍手です。(編集室)

岩出市議選2人当選

岩出市議選では2議席を守ることができました。ご協力ありがとうございました。今年も田辺市、紀の川市、串本町、稲美町、太地町の議員選挙が行われます。各市町村議員と県議団が力をあわせて地方自治を守っていかねばと思います。和歌山市長選挙、県知事選挙でも市民と野党の共闘の前進に力を尽くしてまいります。(奥村のり子)

市駅前での定例宣伝で  
一緒に演説する方紹介します

毎週金曜日の朝、市駅前です。伝えています。都合のつくときは一緒に参加してくれる方がいます。(左の写真) きちんと原稿をつくって演説します。その中身を一部紹介します。(奥村のり子)



日本共産党労働者後援会  
山本みどりさんです。

子育て世代で生活保護以下の所得で暮らす割合は20年前の約2倍になっているそうです。子ども数は減っているのに生活が苦しくなっている家庭が増えているのです。私には大学に通う子供がいますが、仕送りも大変です。子どもも大変で、仕送りだけでは到底生活ができません。長時間のバイトをせざるを得ないのです。

えないので。日本の半数以上の大学生が奨学金を受けているそうです。その奨学金も貸与型で給付型の奨学金はなく、大学卒業と同時に借金の返済です。やっと来年から一部ですが給付型の奨学金が始まります。学生や若者、保護者、市民の声と力で政府の姿勢を一步消させました。本物の奨学金制度をつくるためにこれからも日本共産党と共に頑張ります。(後略)戦争法や憲法にも触れていきます。

面白い歴史散見

歩いてみると、面白い歴史の物語を散見する。市駅を降りて正面の道をまっすぐ南東へ300mほど行くと、街角に「勝海舟寓居跡(かつかいしゅうぐうきよあと)」という碑がある。1863(文久3)年の4月3日に、軍艦奉行であった勝海舟が砲台の視察に和歌山市にやって来た。勝たちが宿泊したのは、豪商「清水平右衛門」の邸宅で、この主人が当時の様子を書き残している。いわく、坂本竜馬が勝の後を追って和歌山にきたのが4月10日。勝は雑賀崎の砲台を視察にゆく。馬に乗って駆けるのは勝ひとり。竜馬のほかお供の者たちは走って勝のあとを追いかける。水軒の浜を待たれど走ってゆく



様子を想像するにつけ面白い。竜馬がいかに健脚とはいえ、一日中走り回っては疲れでしょう。宿にもどって勢いよく風呂に飛び込んだのはいいが、勢いあまって風呂桶の底が抜け壊れてしまったというエピソードが残っている。「まっことすまんきにい」とわらったかどうか・・・。

市駅前勝海舟寓居跡に思い寄せて

さて、文久3年といえれば僕の曾(ひい)おばあちゃんが生まれた年で、この人がまた長生きで江戸、明治、大正、昭和と生きた。僕は3つ4つの頃にこの曾おばあちゃんの中で揺られ、「おにっぺんさん、あくと」と子守唄を歌ってくれた。その背中から江戸時代の匂いが立ち昇ってきたのをいまも覚えてる。

衆院選1区候補  
原やすひさ



Relay talk リレートーク

\*いつも写真が不鮮明でごめんなさい。党県議団HPで奥村規子写真をクリック → 「ぴょんぴょん日記」を開くと写真はカラーでご覧いただけます。